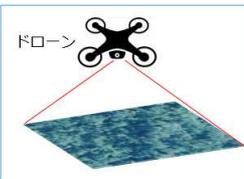


## Ⅻ 令和7年度に行う試験研究課題と関連事業

資源循環利用による健全な森林育成、県産材の加工利用技術の開発等に関わる試験研究等を行う。

### 1 試験研究課題

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究内容
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究				
(1) 荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立 	249	県	R5～R7	荒廃農地の林地化のために、土壌条件等による最適な植栽樹種の選定及び林地化に必要な作業等の判定技術を確立する。
(2) 鳥取県の環境に適したカラマツ初期保育技術の確立 	753	県	R5～R7	耐雪性や下刈りによる成長への影響を把握することで、鳥取県の気候条件に適したカラマツの初期保育技術を確立する。
(3) 特定苗木による低コスト再造林の手法の確立 	1,357	県	R7～R11	特定苗木の本県の気象条件における成長状況及び特長が発揮される林分条件を明らかにし、低コスト再造林の手法を確立する。
(4) ナラ枯れ跡地における更新に関する研究 	561	県	R4～R7	過去のナラ枯れ跡地の植生状況を調査することで、ナラ枯れ跡地の健全な森林への回復判定指標を作成する。
(5) 多雪地帯における獣害防止に関する研究 ～耐雪性に優れた単木保護管と侵入防止柵の開発～ 	1,251	県	R7～R9	柵及び保護管を構成する各部材を柔軟性のある資材に置き換えて耐雪性を検討し、耐雪性に優れた獣害防止資材を開発する。
(6) 無花粉スギ等の着花特性等調査 	220	国 (受託)	R4～R7	林業試験場が開発した無花粉スギ等の着花特性調査及び種子生産特性調査を行う。
(7) 採種園等における種子採種開始日の見直しに向けた調査 	994	国 (受託)	R7～R9	近年の異常気象の影響で、種子の採種適期が異なってきていないかの調査を行う。
小 計	5,385			

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究 内容
2 県産材の利用拡大に関する研究				
(1) 県産広葉樹を使用したLVLの製造と性能に関する研究 	469	県	R7～R11	ナラ枯れ被害樹種や未利用広葉樹、早生樹について、単板性能や乾燥特性、接着性能、スギ・ヒノキ等との異樹種混合を含めた試作LVLの強度性能等を明らかにする。
(2) 県産スギ大径材の製材や乾燥における品質の向上に関する研究 	771	県	R5～R9	スギ大径材の製材時の挽き曲がりや乾燥時の変形を抑制する手法を検討し、スギ大径材の利用促進を図る。
(3) CLTのラミナの乾燥品質向上に係る研究 	959	県	R4～R8	CLTを構成する素材であるラミナ(挽き板)の品質向上と県産CLTの普及を拡大させるため、ラミナの乾燥技術の確立を図る。
(4) 鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究 	1,146	県	R4～R7	県内で植栽が進んでいるカラマツの生育に適した環境と材質特性を明らかにすることにより、県内における造林樹種の選択肢の拡大を図る。
(5) 県産材の建築用途を広げるJAS規格材の利用技術に関する研究 	1,275	県	R2～R7	県内で生産されるJAS規格材について、市場で入手しやすい寸法での材料品質及び接合性能を明らかにし、製材品生産や建築設計に必要な基礎資料を得る。
小 計	4,620			
合 計	10,005			

## 2 関連事業

事業名	担当者
(1) 林木品種改良事業	玉木 操、柴田 寛、赤井広野
(2) 種苗安定生産対策事業	柴田 寛、玉木 操、赤井広野
(3) 森林病虫害等防除事業	西 信介
(4) 酸性雨モニタリング調査委託事業	西 信介

## 3 臨時的調査研究事業

生産現場の突発的な技術課題の解決、本格的な試験研究を実施する前の事前調査、研究素材の蓄積や研究員の資質向上等に必要な試験研究を、迅速かつ柔軟に実施する。